

民生環境委員会活動実績等について
(平成 27 年 12 月～平成 28 年 11 月)

1 議案審査結果等

(1) 委員会

① 平成 27 年 12 月定例会 (4 案)

(12 月 9 日審査)

| No. | 議案名 | 審査結果 |
|-----|---|--------------------|
| 1 | 請第 1 号 建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願 | 不採択すべきもの (反対多数) |
| 2 | 第 103 号議案 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (賛成多数) |
| 3 | 第 104 号議案 舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (賛成多数) |
| 4 | 第 105 号議案 舞鶴市西地区多機能施設条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |

② 平成 28 年 3 月定例会 (13 議案)

(3 月 14 日審査)

| No. | 議案名 | 審査結果 |
|-----|--|-------------------|
| 1 | 第 31 号議案 舞鶴市子ども・若者支援会議条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 2 | 第 32 号議案 舞鶴市予防接種健康被害調査委員会条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 3 | 第 33 号議案 舞鶴市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 4 | 第 34 号議案 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 5 | 第 35 号議案 舞鶴市善行表彰基金条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 6 | 第 36 号議案 舞鶴市保健センター条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 7 | 第 37 号議案 舞鶴市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 8 | 第 38 号議案 舞鶴市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 9 | 第 39 号議案 舞鶴市休日急病診療所条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 10 | 第 40 号議案 舞鶴市国民健康保険高額療養費貸付基金条例を廃止する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 11 | 第 44 号議案 指定管理者の指定期間の変更について(舞鶴市休日急病診療所) | 可決すべきもの (全員賛成) |
| 12 | 第 53 号議案 舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |

| | | |
|----|--|-------------------|
| 13 | 第 54 号議案 舞鶴市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について | 可決すべきもの (全員賛成) |
|----|--|-------------------|

③ 平成 28 年 9 月定例会 (1 議案) (9 月 21 日審査)

| No. | 議 案 名 | 審査結果 |
|-----|---|-------------------|
| 1 | 第 83 号議案 工事請負契約の変更について(舞鶴市環境衛生プラント建設工事) | 可決すべきもの (全員賛成) |

(2) 予算決算委員会分科会 (※当該議案に係る所管事項)

① 平成 27 年 12 月定例会 (4 議案) (12 月 9 日審査(質疑等))

| No. | 議 案 名 |
|-----|--|
| 1 | 第 89 号議案 平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 3 号) |
| 2 | 第 90 号議案 平成 27 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第 2 号) |
| 3 | 第 92 号議案 平成 27 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第 2 号) |
| 4 | 第 93 号議案 平成 27 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算(第 1 号) |

② 平成 28 年 3 月定例会 (9 議案) (3 月 14 日審査(質疑等))

| No. | 議 案 名 |
|-----|---|
| 1 | 第 1 号議案 平成 28 年度舞鶴市一般会計予算 |
| 2 | 第 3 号議案 平成 28 年度舞鶴市病院事業会計予算 |
| 3 | 第 4 号議案 平成 28 年度舞鶴市国民健康保険事業会計予算 |
| 4 | 第 10 号議案 平成 28 年度舞鶴市介護保険事業会計予算 |
| 5 | 第 11 号議案 平成 28 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計予算 |
| 6 | 第 47 号議案 平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 4 号) |
| 7 | 第 48 号議案 平成 27 年度舞鶴市病院事業会計補正予算(第 1 号) |
| 8 | 第 49 号議案 平成 27 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第 3 号) |
| 9 | 第 52 号議案 平成 27 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第 3 号) |

③ 平成 28 年 6 月定例会 (3 議案) (6 月 17 日審査(質疑等))

| No. | 議 案 名 |
|-----|--|
| 1 | 第 56 号議案 専決処分の承認を求めることについて(平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 5 号)) |
| 2 | 第 57 号議案 平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 1 号) |
| 3 | 第 58 号議案 平成 28 年度舞鶴市病院事業会計補正予算(第 1 号) |

④ 平成 28 年 9 月定例会 (9 議案) (9 月 21 日審査(質疑等))

| No. | 議 案 名 |
|-----|--|
| 1 | 第 64 号議案 専決処分の承認を求めることについて(平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 2 号)) |
| 2 | 第 65 号議案 平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 3 号) |
| 3 | 第 66 号議案 平成 28 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第 1 号) |
| 4 | 第 68 号議案 平成 28 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第 1 号) |
| 5 | 第 69 号議案 平成 27 年度舞鶴市一般会計決算の認定について |
| 6 | 第 71 号議案 平成 27 年度舞鶴市病院事業会計決算の認定について |

| | | |
|---|--------|-------------------------------|
| 7 | 第72号議案 | 平成27年度舞鶴市国民健康保険事業会計決算の認定について |
| 8 | 第78号議案 | 平成27年度舞鶴市介護保険事業会計決算の認定について |
| 9 | 第79号議案 | 平成27年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計決算の認定について |

2 委員会の開催

| No. | 日 時 | 議 題 |
|-----|---------------------------|---|
| 1 | 平成27年11月27日(金) 午前11時5分 | (1) 正副委員長の互選について |
| 2 | 平成27年12月9日(水) 午後1時 | (1) 議案審査(4議案) (2) 閉会中の継続審査を決定 (3) 1年間の活動計画を協議・決定 |
| 3 | 平成28年3月14日(月) 午前10時 | (1) 議案審査(13議案) (2) 閉会中の継続審査を決定 (3) 監視機能の充実に際いて、監視対象を協議、決定 (4) 調査視察について協議・決定 |
| 4 | 平成28年6月17日(金) 午後1時 | (1) 平成27年繰越明許費について、所管事項の説明、質疑 (2) 閉会中の継続審査を決定 (3) 委員会視察結果報告について、先進地視察に係る概要説明及び委員からの所感を発言 |
| 5 | 平成28年9月21日(水) 午前10時 | (1) 議案審査(1議案) (2) 閉会中の継続審査を決定 (3) 市内現地視察について協議、決定 |
| 6 | 平成28年10月12日(水) 午前10時 | (1) 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画の進捗状況について説明、質疑 各委員から計画に対する評価等意見を発言 (2) 個別計画の進捗状況について説明、質疑 各委員から計画に対する評価等意見を発言 |
| 7 | 平成28年11月7日(月) 午前10時30分 | (1) 1年間の活動実績等について 1年間の活動実績及び申し送り事項について協議、決定 |

3 委員会活動計画に係る取り組み

(1) 重点事項

- ① 介護保険制度に関する調査研究
- ② 子育て支援に関する調査研究
- ③ 地域医療に関する調査研究

(2) 監視項目

① 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画

| 編・章・節 | 監視項目 |
|-------|--|
| 1・2・1 | 3 高齢者が安心して生活することができる環境づくり (2) 高齢者と家族を支えるサービスの充実 ① ニーズに対応した介護サービスの充実 ② 認知症高齢者の生活を支える施策の推進 ③ より適正な要介護認定の推進 |
| 1・2・3 | 3 地域医療の確保 (1) 医療再生の推進 ① 医療再生の推進 ② 市民病院の経営健全化 (2) 医療提供体制の充実 ① 救急医療体制の強化 ② 医師確保の推進 ③ へき地医療の確保 ④ 医療連携の推進 |
| 1・3・1 | 1 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり (2) 子育て支援の充実 ① 子育て交流施設における「あそび」と「交流」の推進 ② 地域子育て支援拠点の充実 ③ 子育て支援医療助成の充実 ④ 子育て支援活動団体への支援 |

② 個別計画

| | |
|-------|---|
| 計画の名称 | 舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 |
| 計画期間 | 平成 16 年度～平成 30 年度 |
| 監視項目 | 第 4 章 ごみ処理基本計画 第 3 節 ごみの排出抑制・資源化計画 2 減量化量の予測 (1) ごみ有料化における減量効果 3 資源化計画 資源化の現状と課題について |

※評価に係る意見は別紙 1 のとおり

(3) 先進地視察

| No. | 日程 | 視察先 | 調査内容 |
|-----|---------------------|--------------|-----------------------|
| 1 | 平成 28 年 5 月 9 日（月） | おとなの学校 | おとなの学校の取組について |
| 2 | 平成 28 年 5 月 10 日（火） | 神奈川県 | 介護ロボット普及推薦センターの取組について |
| | | 特別養護老人ホーム芙蓉苑 | 介護ロボットの活用について |
| 3 | 平成 28 年 5 月 11 日（水） | 埼玉県和光市 | 介護予防事業の取組について |

※報告内容は別紙 2 のとおり

(4) 市内現地視察

| No. | 日 程 | 視 察 先 | 調 査 内 容 |
|-----|-----------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 平成 28 年 2 月 10 日 (水) | 舞鶴こども発達支援 施設さくらんぼ園 | 子どもの発達支援について |
| 2 | 平成 28 年 10 月 20 日 (木) | ・リサイクルプラザ ・一般廃棄物最終処 分場 | ・リサイクルプラザ、一般 廃棄物最終処分場の状況に ついて |

1 子どもの発達支援について

さくらんぼ園長から園の状況について説明を受け、施設見学と保育の現場の視察を行った。

2 リサイクルプラザ、一般廃棄物最終処分場の状況について

- ・リサイクルプラザにおいて、不燃ごみ及び粗大ごみ等の選別・資源化について説明を受け、選別後のごみや再生家具の展示等の視察を行った。
- ・一般廃棄物最終処分場において、埋立の現状及び浸出水処理施設について説明を受け、現地の視察を行った。

(5) その他委員会活動

① 民生環境委員会勉強会

日時：平成 28 年 4 月 22 日 (金) 午前 11 時 15 分から

内容：本市の現状について

- ・介護予防事業の取組について

② 民生環境委員会打ち合わせ会

日時：平成 28 年 10 月 6 日 (木) 午後 2 時から

内容：10 月 12 日開催の委員会（議題：新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画及び個別計画について）の進行等について確認

4 申し送り事項

次の意見が出されたことを申し送ることとする。

- ・総合計画後期実行計画及び個別計画の監視項目については、初めての試みであったが、重点事項から選ばれたものであり、大変有意義であった。総合計画等の監視については引き続き実施されたい。
- ・現地視察について、今年度の実績も参考にして適宜実施していただきたい。

5 その他事項

(1) 平成 28 年意見交換会（民生環境班）について

- ①開催日時 : 平成 28 年 7 月 21 日（木）午後 3 時から 5 時まで
- ②開催場所 : 舞鶴市役所 本館 4 階 議員協議会室
- ③テーマ : よりよい保育環境づくりについて
- ④対象団体（参加人数）: 舞鶴市民間保育園連盟 12 人
- ⑤傍聴者数 : 13 名
- ⑥申し送り事項

参加者からの意見を聞くだけでなく、議員の意見に対する意見交換の場を設けられれば良かった。

※ 意見交換会に係る班会議を計 6 回開催、勉強会を 1 回開催

班会議 : 3 月 14 日、4 月 22 日、6 月 17 日、7 月 19 日、8 月 2 日、10 月 20 日

勉強会 : 5 月 13 日

※報告内容は別紙 3 のとおり

委員名簿（7 人）

| | | |
|------|---------|----------|
| 委員長 | 尾 関 善 之 | 創政クラブ議員団 |
| 副委員長 | 亀 井 敏 郎 | 鶴翔会議員団 |
| 委員 | 上 羽 和 幸 | 公明党議員団 |
| 委員 | 小 杉 悦 子 | 日本共産党議員団 |
| 委員 | 鯛 慶 一 | 新政クラブ議員団 |
| 委員 | 山 本 治兵衛 | 創政クラブ議員団 |
| 委員 | 和佐谷 寛 | 新政クラブ議員団 |

【参考】新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画及び個別計画の進捗状況に関わり、各委員からの評価に係る主な意見について（平成 28 年 10 月 12 日民生環境委員会）

1 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画の進捗状況について

○ 高齢者が安心して生活することができる環境づくり

（高齢者と家族を支えるサービスの充実）

- ・ 地域密着等介護施設や地域密着型小規模多機能施設の整備計画については、まだ未達成のところもあり、計画達成のために努力いただくと同時に、介護事業を推進していく上で、市民に寄り添った事業を進めていただきたい。
- ・ 認知症行方不明高齢者早期発見体制整備事業のGPSを利用した位置検索サービス利用支援事業については、早急に普及をすすめられたい。小型発信機の購入費の補助等についても、今後の課題として検討いただきたい。
- ・ 認知症高齢者の対策については、認知症初期での対応を実施されているが、予防等についてもより効果的な支援に取り組まれることや、民生委員や地域の代表者等との連携した取り組みをお願いしたい。
- ・ サービスの向上に努めておられることを確認したが、介護従事者の働きやすい環境づくりにも努力いただきたい。

○ 地域医療の確保（医療再生の推進・医療提供体制の充実）

- ・ 医師の確保が大切であり、不足する地域医療については市の責任で補い、舞鶴市内での地域完結ができるように、市の公的責任を果たしていただきたい。
- ・ 市民病院の収支については、もう少しで収支が均衡するところまで努力していただいていると思うが、今後さらなる経営健全化に努力をお願いしたい。
- ・ 市民全員が関心を持ち、生活に必要不可欠なことであることから、目標達成で完結することなく、それ以上の推進にご尽力いただきたい。
- ・ 療養型に特化したものだけではなく、自治体病院の本来あるべき姿にもう一度見直していただきたい。
- ・ 市民病院が現在のあり方となるまでには経過があり、その中で地域医療の混乱が一定安定の方向に向ってきたことは大きく評価できると思う。
- ・ 医師不足の状況の中で地域医療を舞鶴で完結するのはむずかしいため、特に医師や看護師になられた方が、舞鶴に帰って働きたいと思える教育をしておくことが大切である。
- ・ 各病院でのハード整備が完了し医療連携の基盤が整い、公的4病院があたかも一つの病院として機能を連携して医療ニーズに対応していただくことを期待する。

○ 安心できる子育てと人格形成の基礎を培う乳幼児期の環境づくり

（子育て支援の充実）

- ・ 子育て医療助成制度は本市の子育て支援の大きな柱でもあり、市独自の支援もしっかりしていただきたい。
- ・ 子育て支援医療助成については、進捗状況をみても達成の域にあると思われ、今後は限られた財源の中で安定して助成が行えるよう最善を尽くしていただきたい。
- ・ 子供たちが舞鶴で生まれて育ってよかった、親になった時に舞鶴で子育てをしたいと思える環境づくりに今後も尽力いただきたい。

- ・ 子育て支援は舞鶴の将来の要であるので今後も充実に努めていただきたい。
- ・ 幼児期に受けた環境が人生を大きく左右すると言われていた中、幼児教育の充実は必要なことだと思う。
- ・ 子育てをしているお母さんがどのような思っているのかが重要であり、親御さんの声を聞いて事業を進めていただきたい。子育て支援が充実することによって、定住促進にもつながると思うので引き続き努力をお願いする。
- ・ 子育て交流施設「あそびあむ」については、利用者数から見ても評判はよく、評価する。

2 個別計画の進捗状況について

○ 舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

（ごみ有料化における減量効果・資源化の現状と課題について）

- ・ この計画はごみ問題に対する市民の理解がなければ成就しない。具体例な数値を示して市民にPRするのが大事だと思う。
- ・ 可燃ごみの排出量は、有料化の効果もあり計画以上に減量化が進んでおり評価する。
- ・ ごみ減量に関しては、市民意識の改革が大事であることから行政から啓発をしっかりと行い、更なる減量に努めていただきたい。
- ・ 市民が行政と一緒に取り組んでいく必要があると思う。我々も啓発に寄与できるよう頑張りたい。
- ・ ごみ有料化後に他市で発生しているリバウンド状況もなく現状維持している事に関して評価するが、古紙等はまだ可燃ごみとして捨てられていることもあり、市民への啓発活動の更なる推進施策、ひいては最終処分場の長寿命化も見据えた施策をお願いしたい。
- ・ 1人1日当たりの排出量が増えていることについては、理由を分析して対処を検討いただきたい。
- ・ 今の環境を守るには、ごみを出さないサイクルが求められているが、使い捨てる時代の生活パターンを変えていくような市民の皆さんの理解も必要だと思う。それによって経済的な市民負担が増えることになってはいけないので、市民合意を求めながら進めていただきたい。
- ・ 全体の取り組みについては評価する。ごみをごみとせず、ごみを大切な資源として活用できる仕組みづくりに努力いただくことを要望する。
- ・ 今後は、一般廃棄物処理基本計画の改正版に沿って着実に進めて欲しい。

平成28年6月17日

民生環境委員会

| | |
|-------------------|--|
| 日 程 | 平成28年5月9日(月)～11日(水) 3日間 |
| 視察先 及び 調査項目 | 東京都 港区 おとなの学校 南青山校 (9日 午後1時30分～3時30分) ・ おとなの学校の取り組みについて |
| | 神奈川県 横浜市 神奈川県庁 (10日 午前10時～11時30分) ・ 介護ロボット普及推進センターの取り組みについて |
| | 神奈川県 横浜市 特別養護老人ホーム芙蓉苑 (10日 午後1時30分～2時45分) ・ 介護ロボットの活用について |
| | 埼玉県 和光市 (11日 午後1時30分～3時30分) ・ 介護予防事業の取り組みについて |
| 参加委員 等 | 尾関 善之 委員長、 亀井 敏郎 副委員長、 上羽 和幸委員、 小杉 悦子委員、 鯛 慶一委員、 山本 治兵衛委員、 和佐谷 寛委員 |
| 調査概要 | <p>東京都港区 おとなの学校 南青山校 対応者：営業課長 ・ おとなの学校の取り組みについて</p> <p>① 内容 特徴①：高齢者の五感を刺激する”教室という空間”。まず入って目に飛び込んで来るのは、黒板やチョーク、時間割、時計。鉛筆やプリントに触れ、チャイムが聞こえてきます。”学校の昔懐かしさ”を五感で感じられる作りとなっています。この中で、国語や算数をはじめ”授業”という形で機能訓練や脳リハビリのサービスの提供、また積極的に話したくなるよう工夫されています。</p> <p>特徴②：”学びの喜び”。利用開始日には、”入学式”、半年に一度、努力の成果発表し通知票を受け取る”成果発表会”、”卒業式”、という晴れ舞台も用意されておりちょっとした緊張感と、家族や仲間から寄せられる拍手に涙される方もある。これこそが、おとなの学校の醍醐味を感じる。評価の中、全てが甲で”できる”を大切にすることで、さらに学びの意欲に繋がっています。</p> <p>特徴③：”仲間たち”。互いに安心を生む仲間、時には高め合う仲間、先生や仲間の励ましの声に高齢者が諦めずに取り組む姿が見られます。</p> <p>② 質疑応答 質問の主なものとして、「皆さんの認知症とは思えないいきいきとした授業を拝見して通所されている介護度はどの程度ですか」。また、「一日に必要な費用はいくらですか」、といった質疑に対して、「おとなの学校独自の高齢者向けの教科書で、よくご存知の話題(内容)を中心に用意されているため、参加者が自ら活発に話をされます。活発な話を引き出すことに、おと</p> |

| | |
|------|---|
| 調査概要 | <p>な学校のノウハウがあります。また、学びを通して皆さんの自尊心を大切に組み込んでいます。介護度は2.1～2.5程度、費用については介護度が基本で1割負担、その他に食事等で1,000円程度」との答弁がありました。</p> |
| | <p>神奈川県横浜市 神奈川県庁 対応者：高齢福祉課 企画グループリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ロボット普及推進センターの取り組みについて <p>① 内容</p> <p>神奈川県において、今後、急速に高齢化が進むことが見込まれ、介護施設や在宅の介護現場における介護者の負担が増大することが予測される。そこで、介護現場の負担軽減を図るとともに、高齢者の自立支援のため、介護ロボットの介護施設等への導入を推進していく必要がある。高齢福祉課では介護ロボットの導入現場の公開や活用事例の蓄積・発表など行う。また、介護ロボット普及推進事業を円滑に実施するため、介護ロボット普及推進センターを設置している。</p> <p>② 質疑応答</p> <p>質問の主なものとして、「神奈川県が先進的であると認識しているが、普及が進んでないような説明を受けたが、意識調査の感触はどうか」。また、「スマートスーツについて、介護職員の過酷な労働環境の中で、腰痛が離職の原因となっている。また、在宅介護家族向けにも普及すると思う。評価と価格について」の質疑に対して、「まず、現場の理解が進んでない現状を把握しているが、ロボット自体、いま開発段階にあり導入に際して、いろいろと改善策が必要となったときシステム変更に伴う時間・費用について考慮する必要がある。また、スマートスーツについては、芙蓉苑での職員の評判は良い。価格については約5万円であるが今のところ補助金が出ていない。効果もあることから国において、補助対象としていただくとありがたい」との答弁がありました。</p> |
| | <p>神奈川県横浜市港南区 特別養護老人ホーム 芙蓉苑 対応者：施設長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ロボットの活用について <p>① 内容</p> <p>介護を取り巻く環境は人材の確保などさまざまな課題が存在する中、神奈川県では介護人材の確保と労働環境の改善から介護ロボットの導入を推進されており、実際にロボットを導入している特別養護老人ホーム芙蓉苑の現場を視察する。</p> <p>芙蓉苑は、平成24年から神奈川県との締結により、現在6種類①「パロ」②「パルロ」③「ルンバ」④「うなずきかぼちゃん」⑤「スマートスーツ」⑥「ロボットアシストウオーカー」の介護ロボットを活用して介護サービスを行っている。その中で、「パルロ（コミュニケーションパートナーロボット）」は、人間の言葉が理解でき、積極的に話しかけながらコミュニケーションをとることにより、認知症の予防やセラピー効果の観点から注目を集めている。「パルロ」と会話したりダンス、ゲームなど一緒にすることで、介護予防の効果が期待されている。</p> |

| | |
|------|--|
| 調査概要 | <p>② 質疑応答</p> <p>質問の主なものとして、「4年前から稼働されていると思うが稼働状況について、導入にあたっての補助があったか、費用対効果について、また、ロボット自体の音量では耳の遠い方もあると思うがどのような見解をお持ちですか」の質疑に対して、「毎日やっていると飽きると思うのである程度、特別な日として運営している。補助については、県が行っており、その代わりに県へノウハウをフィードバックして協力している。負担軽減については、大きな効果が期待できるが1台80万の負担となれば課題もある。また、音量については、補聴器を付けておられる方もあり、注意しているが、なんといってもご自身が聞き取る姿勢も大事であり、あくまでも自立を目指して頑張っていたきたい」との答弁がありました。</p> |
| | <p>埼玉県 和光市 対応者：保健福祉部長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防事業の取り組みについて <p>① 内容</p> <p>和光市では、先進的な取組（介護保険法の周知含む）により、要介護（支援）認定率や保険料が低く安定したものとなっている。これらの効果は市の施策に市民が呼応した結果によるもので、高齢者の皆様がさらに元気で安心して暮らしていけるよう、高齢化社会のピークポイントとなる2025年（平成37年）に対応するため、基本目標、基本方針を設定している。</p> <p>② 質疑応答</p> <p>質問の主なものとして、「職員の意識について、新たな施策を行う際に、根底にある思いについては何を持って臨むのか。また、事業者の24時間定期巡回や家賃補助について課題を持っている。実現できない現状を解決するのにどうすればよいか」。などの質疑に対して「地方分権をどう捉えるかで説明がつくのではないか、地方の課題をどう解決するかは、地方公務員の役割。根拠ある数字と分析、これが課題対策の要。つぎは、ニーズ調査で実態を把握していないかぎり、対策は打てない。ニーズ調査をしっかりとって、方針を明確に立てることだと思う。などの答弁がありました。</p> |

民生環境班

| | | | |
|----------------|---|-------------|------------|
| 開催日時 | 平成28年7月21日(木) 午後3時～5時 | | |
| 開催場所 | 舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室 | | |
| テーマ | よりよい保育環境づくりについて | | |
| 対象団体 | 舞鶴市民間保育園連盟 | | |
| 参加人数 | 12名 | 傍聴者数 | 13名 |
| 出席議員 (役割分担) | 和佐谷寛(座長) | 上羽和幸(記録・報告) | 尾関善之(議会報告) |
| | 小杉悦子(資料準備) | 鯛 慶一(要録) | 山本治兵衛(謝・靴) |
| 内 容 | <p>【概要】</p> <p>議長と保育園連盟会長の挨拶に続いて、出席議員の自己紹介を行った後に、予め準備及び配布した資料に基づき、一般会計の歳出について保育関係の事業説明と6月定例会の審議内容について報告した。</p> <p>その後、各保育園長から自己紹介と自園の紹介を受けた後に、「よりよい保育環境づくりについて」をテーマとし、意見交換を行った。</p> <p>多くの意見や要望を交換し、最後に座長から閉会の挨拶を述べ、閉会した。</p> <p>【意見・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の運営費について、年度途中からの入園となる予約に対し、実際の受入態勢を構築する職員体制は4月から準備を整えなくてはならないが、運営費で支給される職員費については、園児が入園してからになる。その事が民間保育園の経営面で影響を与える事があり、職員確保の問題や入園受入の困難な状況を作り出す。何か良い方法を一考頂きたい。 ・ 保育園の運営費は国が50%を負担し、残りは京都府と舞鶴市がそれぞれ負担する。つまり、保育環境を良くするには市の保育行政について、どのように考えるかである。府下の南部へ注目すると市の単費が明らかに違う。 ・ 実際の職員募集について、時給額に明らかなギャップがある。年次昇給についても他の分野における職業と比べても見劣りする現状がある。人材確保の面から、最初に考えなくてはならない現実である。 ・ 舞鶴市は乳幼児教育ビジョンが策定され、幼保小連携の強化を求めている。各園も理解し協力をしている。ただ、よりよい保育や教育には大人の手がかかるという事実を理解してほしい。国の基準で運営する以上は必要以上の保育士を雇用する事も叶わず、子どもが多すぎる、職員が少なすぎる、園舎も狭すぎる。舞鶴市には独自の基準でよりよい保育をめざしてほしい。 ・ 園児の食事について、各園は自園調理である。各園が工夫を凝らして園児の為に用意している食事をぜひ、ごらんいただきたい。 ・ 西地区のこども園について、定員割れの私立園が存在するにも関わらず、新たなこども園の創立には疑問がある。 | | |

舞鶴市議会議長 桐野正明様

平成28年 8月 2日

舞鶴市議会意見交換会実施要領第9項(1)により、報告書を提出します。

民生環境座長 和佐谷 寛